

1月23日、24日

研修員らは、プノンペンにあるトゥール・スレーン虐殺犯罪博物館（Toul Sleng Genocide Museum）を訪問しました。ここでは、カンボジアのポル・ポト時代における悲劇的な歴史と大量虐殺の実態について学びました。虐殺の歴史を知ること、今後の教育や国際協力における平和の重要性を再認識する機会となりました。

その後、プノンペン市内を観光しました。歴史的な名所や文化的な場所を訪問し、カンボジアの豊かな文化遺産に触れたり、近代的な発展を感じたりすることができました。研修員たちはカンボジアの過去と現在を結びつけ、今後の発展に向けた希望を感じていました。